

菊陽人 りさーち



しまだ ここは
嶋田 心葉さん
(8歳・辛川)

- 趣味
お姫さまを描くこと
- 将来の夢
病院の先生
- 自慢できること
なわとび
- 家族に伝えたいこと
いつもありがとう

「菊陽人りさーち」に掲載を希望する人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



なかはら のあ
中原 望晶さん
(8歳・馬場楠)

- 趣味
なわとび
- 将来の夢
お洋服屋さん
- 自慢できること
硬筆
- 家族に伝えたいこと
私を大切にしてくださいありがとうございます

人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.55】

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

◇印からの文章は先生のコメントです。



せんたくたたみの
お手伝い
白菊園 島本珠里(6歳)

お休みの日に、ママと私とおせんたくたたみをした。
パパは、お仕事に行った。
おせんたくはママがした。かわいたのでママが入れたよ。
お洋服やタオルをママといっしょにたたんだ。
おせんたくものをたたんだあと、ばあちゃんちに行った。
お外でねことあそんだ。
おばあちゃん、「まんま」にピーマンやキュウリを出しに行ったよ。

◇保育園でもよく気が付いてお手伝いも進んでくれます。家でも、お母さんのお手伝いをしている様子がとてもよく分かります。お母さんと一緒に洗濯物を畳んだ事がうれしかったようです。

休みの日には、おばあちゃんの家に行ったことを楽しそうに話してくれ、お母さんがおばあちゃんのお手伝いをしてる姿もよく見ているようです。



ママといっしょに
楽しかったよ！

いってよかったこと

菊陽中部小学校1年 大野ひかり
(現中部小2年)

わたしは、学校のかえりに、友だちにいじわるをされました。まへは、とつてもこわかったです。あしたはどうなるだろうと思っていました。先生にいおうと思いましたが、お友だちがおこったらこわいと思って、だまっていました。だまっていてごめんなさい。



▲仲良し友達

さく文をかいて、いじわるをやめてほしいとお友だちにいいました。お友だちは、はなしをきいてくれました。もうしないとやってくれました。

菊陽句会報

きくよう文芸

夏の来てホースの水はお湯となり
鯛雲子に未来あり夢もあり
七夕や今日の健康感謝せり
菫の治療解き放たれて天高し
秋暑し母にひと刻寄り添ひて
せせらぎの行きつく所キャンプ村
紫陽花や終りて青き鞠となり
秋の野は南吉童話の世界かな
七色にかがやき白露陽を受けて
赤とんぼ季節を告げに来たのかな
学校田腰をたたいて稲刈りだ
茄子の馬夕べの川に流せし日

坂本百合子
田中 郁子
井 子文
財津 早雪
原野レイ子
力 幸子
寺尾千代子
高橋 孝子
堀川 妙子
福田 貴子
佐藤 健
佐藤 節

台風の逸れていそいそ夕支度
雨止みてまた徐に秋の蟬
充分な湿り見とどげ大根時く
抱く嬰の重きよ月のまるまると
汗滂沱なにせぬま、に暮れゆけり
孟宗竹登り苦瓜紅二つ
扱置きて先ず箸の向く秋の茄子
方言の心安さよ衣被
我が余命卒寿を超えて敬老日
人生は出逢ひと別れ星流る
団樂の輪に枝豆の青きかな
戦は逃れよ避けよと燕去ぬ

吉野 早苗
井上久美子
宮川ユキエ
日高 妙子
曾我 育代
曾我トモ子
紫藤 祥子
村上 朋子
野口 令史
松橋 強
藤本 純子
佐藤 澄世

短歌会

遠き日は森の上より昇りしが今宵の月はビルの谷間ゆ
連日の雨に打たれし秋キヤベツ収穫出来るは半分位か
友の死を告げたる紙面を妻が見せぬその一瞬の空白や何
煌々と月の光は放たれて今宵の星は霞みて見えぬ
天を裂く如き雷響き来て雨は激しく庭の土打つ
日々眺むる稲穂の波と彼岸花母と過ごしし思い募りし
目覚しのベルに起こされ今日も又頑張りたしと杖に立ちたり
湧き水は命のごとく波打ちぬ幼き子らの輝きにて
雨止みて雲間に見ゆる空青く秋草求めて出でて来たりぬ
森陰を流るる風に乗りに飛ぶヤンマの影が空を過ぎりぬ

今村 貞子
梅田 國雄
河北 幸一
菊川あさみ
佐藤せい子
中村トシエ
福原 玲子
松岡富紀子
山川 カヅ
松本 東亜

いってすこしすっきりしました。
◇勇気を出してお友達に言って、解決していったんですね。これからも自分の気持ち伝えて、友達と仲良くしましょうね。

菊陽町人権フェスタに参加して

地域人権教育指導員 中島たつ子

菊陽町人権フェスタが9月7日に開かれました。ふれあい劇団の人権劇「明日は我が身」も青木新門さんの講演「いのちのバトンタッチ」も人と人との絆、そして生と死を自分に引き寄せて考えさせてくれるものでした。

高齢者の問題も生と死の問題も今を生きる私たちの問題です。全ての年代の人に聞いてもらいたい内容でした。

コッコロ隊と



青木新門さん

「目と目でかわす一瞬のいのちのバトンタッチがあるんです」